



第107回

鹿児島・悪石島で震度5強

※2025年7月の毎日新聞記事を元にした文章です。

校閲し、直すべきところを指摘してください。

1 / 2

7月5日午前6時29分ごろ、鹿児島県十島村の悪石島で震度5強の地震があった。震源地はトカラ列島近海で震源の深さは約20キロ。地震の規模はマグニチュード(M)5.3と推定される。悪石島にいた56人全員が無事。十島村の宝島などで震度3を観測した。

十島村は5日、島外に村営フェリーで避難する第2陣の希望者が午後6時時点で45人に上ったと明らかにした。悪石島の31人と小宝島の14人で、6日午前に鹿児島市に向かう予定。小宝島は悪石島の南東約40キロにあり、2日に震度5弱を観測するなど揺れが相次いでいた。4日の第1陣は悪石島からの13人(0〜80歳)だった。

気象庁によると、トカラ列島近海では6月21日以降に地震が頻発し、7月5日午後4時までに深度1以上を1340回観測した。3日には悪石島で震度6弱を観測。同日夕、十島村にある村役場で記者会見した久保源一郎村長は「気象災害と違って、地震は終わりが見えない。島の住民の積み重なった心的疲労は相当なものだろう」険しい表情で語った。一連の地震では、過去に付近で起きた地震活動をはるかに上回るペースで揺れが発生している。

気象庁の海老田稜貴・地震津波監視課長は5日の記者会見で、依然として地震活動が活発だと分析。当分の間は最大震度6弱程度の地

震が起きる可能性があるとして注意を呼びかけた。

また、蝦田課長は会見で「2025年7月5日に日本で大災害が起きる」という預言との関連を問われ「全くの偶然だ。地震予知に科学的根拠はない」と否定した。5日昼の震度5強の地震は、一連の地震活動の一環とみている。

気象庁によると、日本では震度1以上を観測する地震が年間2000回以上発生している。16年には6500回を超えた。海老田課長はこうしたデータを紹介し、日本は世界有数の地震国だと指摘。

「多い時には1日に10回以上、(日本の)どこかで震度1以上の地震が発生している。預言を言っているとたまたま当たることはある。問題は(預言と発生に)因果関係があるかどうかだが、因果関係はない」と明言した。

その上で「現在の科学的知見では日時、場所、規模を特定した地震予知は困難だ。科学的知見に基づいて判断してほしい」と述べた。

「日本はいつでも地震が起きる可能性がある。日ごろから地震への備えをお願いしたい」と呼びかけた。